

## 【家庭科】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・初めて行う活動にも、楽しんで取り組むことができる。</li><li>・学習を通じて、自分も家庭の仕事をやろうとしたり、家族に感謝の気持ちをもったりできるようになる児童が増えてきている。</li></ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・調理や裁縫において実生活での経験の差が大きく、経験の少ない児童の指導上の手だてを工夫していく必要がある。</li></ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・調理実習の計画を立てる時には、オクリンクに自分の班の分担を各自記入することで、子どもも教員も一目で全員の持ち物が理解でき、忘れ物防止にも役立った。2学期からは仕事分担も入れることで、誰もが様々な仕事を体験することができる。</li><li>・第6学年では、第5学年で学んだ知識や技能を用いて工夫したり発させたりできる教材を設定する。</li><li>・家庭科は、学んだことを生かして実践することが大切である。そのために、家庭の協力は欠かせない。授業の様子を保護者会等で伝え、実践することへの協力を求めていく。また、学期に1回ずつ保護者にもコメントをいただき、児童の実践への意欲を高める。</li><li>・裁縫では細やかな作業が多いので、個別に作業するために地域や保護者の授業ボランティアを依頼する。</li></ul>